

中城村における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	1,643,600	2,744,790	4,388,390	31.4%	令和8年度に中城村森林環境譲与税使途検討委員会を設置し、各部署の幅広い意見を取り入れ、国産木材や県産木材の普及啓発等を行っていく。
譲与額（円）	11,308,000	2,682,000	13,990,000		

■令和7年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	森林整備 （造林地域の保全）	99,000	99,000	イスノキを植えることで、村内造林地域の保全を行う。
木材利用・ 普及啓発	普及啓発活動 （木工体験事業）	146,000	146,000	2026とよむ中城産業まつりで、木工体験（自分だけの「オリジナル マイ箸作り」）を体験してもらった。2日間で120名が参加し、国産木材の普及啓発を図った。
木材利用・ 普及啓発	普及啓発活動 （保育施設への木製品贈呈）	2,499,790	2,499,790	村内全保育施設（認可・認可外・企業主導型保育施設）に対し、国産材や県産材を使った木製品を贈呈した。五感の発達が著しい低年齢から木の良さに触れる機会を設けることができた。
基金積立		0	0	中城村森林環境譲与税積立基金への積立
合計		2,744,790	2,744,790	

■今後の実施計画

村内造林地域の保全を引き続き行うとともに、令和8年度に中城村森林環境譲与税使途検討委員会を設置することで、各部署の幅広い意見を取り入れ国産木材や県産木材の普及啓発等を行っていく。